

第3回宇治市水道事業経営審議会

議題 ビジョン後半の投資事業と収支見通しについて

1. ビジョン後半での課題
2. 専門部会からの報告

令和7年11月6日

宇治市上下水道部

✓ 前回の審議会（6月2日開催）は、ビジョン前半の総括

✓ 本日の審議会は、主にビジョン後半の投資＆収支を議論

なお、本パワーポイントで示す内容、社会情勢などを踏まえ、

◆第2回専門部会（7月15日）で、今後の投資事業を、

◆第3回専門部会（10月10日）で、主に収支見通しについて議論していただきました。

専門部会で取りまとめられた内容については、
「専門部会からの報告」でお示しいたします。

宇治市の水道施設の現状(耐震化率等)

浄水場(水を作る)

進捗状況

◆ 令和7年度末見込 82.1%(令和12年度到達目標82%)

達成

全国平均

◆ 令和5年度末現在 44.5%

配水池(水を貯める)

進捗状況

◆ 令和7年度末見込 53.1%(令和12年度到達目標87%)

● 目標値及び全国平均
には達していない● 耐震化率は**53%**

全国平均

◆ 令和5年度末現在 64.7%

基幹管路(幹となる管路)

進捗状況

◆ 令和7年度末見込 32.0%(令和12年度到達目標31%)

● 目標値は達成
● 全国平均には達して
いない● 耐震適合率は**32%**

全国平均

◆ 令和5年度末現在 43.3%

上下水道事業を取り巻く状況

●令和3年10月 和歌山市水管橋破損事故

紀の川以北地域への唯一の送水ルートが遮断され、約6万世帯が断水

●令和6年1月 能登半島地震

浄水場や管路の破損により、水道・下水道が長らく使用できず

●令和7年1月 埼玉県八潮市での道路陥没事故

老朽化した下水道管が破損し、甚大な事故に

●令和7年4月 京都市での水道管破損事故

老朽化した水道管が破損し、広範囲が冠水する被害

など



全国各地で老朽化した管路が破損

管路の更新・耐震化について

国は老朽化した管路の更新・耐震化のスピードアップを要請

- 避難所などの重要施設に接続する上下水道管の耐震化！
- 緊急輸送道路下に布設された老朽化した鑄鉄管の解消！
- 強度の劣る鑄鉄管の解消！

宇治市は、管路の更新・耐震化が
最重要課題と考えている

10
年
後

法定耐用年数である**40年を超過** ⇒ 全管路の**52.9%**！

更新基準年数である**60年を超過** ⇒ 全管路の**14.0%**！

京都市の水道管破損は、
昭和34年に布設された
鑄鉄管（布設から66年）

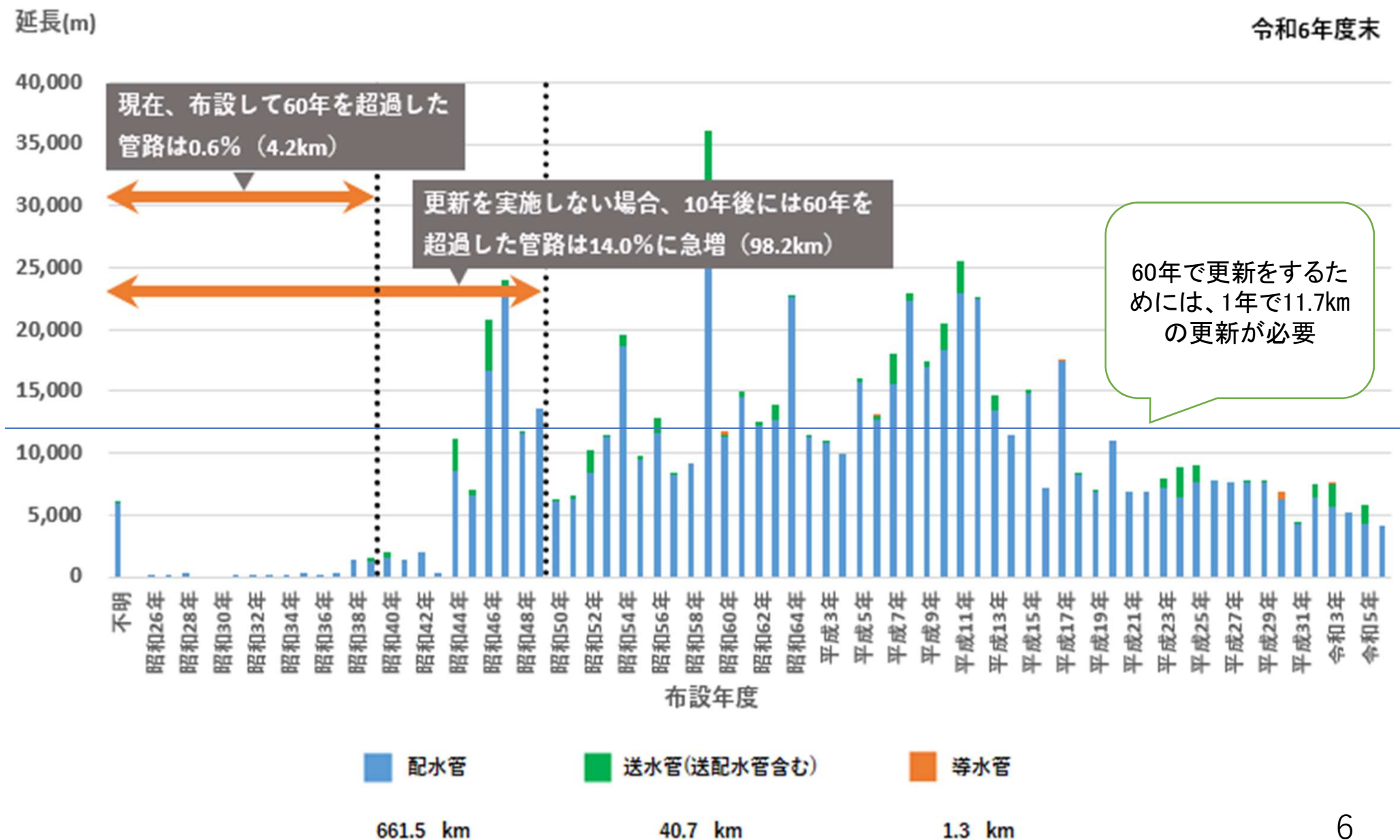
（※令和6年度末を起算）

※法定耐用年数・・・減価償却費を算出するために国が定めている期間であり、実際に使用できる年数とは異なる

※更新基準年数・・・国の実使用年数に基づく更新基準の設定例を参考にした年数

60年

布設年度別管路延長(全管路) 総延長703.5km



課題：限られた財源の中、
如何に管路の更新・耐震化にかかる費用を捻出するか？



第2回専門部会で議論いただきました

厳しい収支状況について

- 人口減少・節水機器の普及により、**給水収益の減少**
- 燃料費を始めとした**物価の高騰**
- 人件費**（職員給与費）の**上昇**
- 企業債の**金利の上昇**
- 投資を行うことによる**減価償却費の上昇**



水道事業は**独立採算**であり、基本的に**水道料金で賄うもの**



非常に厳しい収支状況

今後の収支を算定するにあたり

項目	指標	考え方
給水収益の減少	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆第6次総合計画の第2期中期計画「人口推移と将来推計」から推計 ◆過去の傾向を分析した推計
物価上昇率	2.0%	◆日本銀行が目指すとしている指標で算定
人件費上昇率 (職員給与費)	2.17%	<ul style="list-style-type: none"> ◆人勧の改定率で算定 (令和5年度0.81%(市実績)、令和6年度2.36%(市実績)、令和7年度3.3%(国人勧)の3か年平均)
金利上昇率	2.7%	<ul style="list-style-type: none"> ◆地方公共団体金融機構利率の実績を加味して算定 (令和7年10月1日財務省報道発表、財政融資資金貸付金利30年貸付の金利)
企業債の借入割合	80%程度	◆今後10年間に係る投資計画における事業費財源に基づき算定

収支見通し

耐震化工事により、
●減価償却費が増加
●支払利息が増加
しかし、市民の安全が第一

施設の耐震化

収益減少、物価高騰のなか、

●経費を抑えたい
●収益を増やしたい

収支の健全化

収支見通しについて、

第3回専門部会で議論いただきました

料金体系の見直しについて

◆水道料金の体系には、用途別と、口径別があり、宇治市は用途別を適用

《用途別》

公衆衛生の向上を図るため、一般的な家庭で利用されていた井戸水等から水道水へ切り替えていただくことを目的とした料金体系。



長い歴史の中で当初の目的はすでに達成

◆近年、全国的に用途別から口径別への移行が進んでいる



宇治市の用途別料金体系

用途		基本使用料		従量料金（1 m ³ あたり単価）						φ	メータ使用料	
				1 段	2 段	3 段	4 段					
家庭用	使用水量	～8m ³		9～20m ³	21～40	41～60	61m ³ ～			13	260	円
	料金	1,030円		161円	196円	208円	227円			20	280	円
営業用	使用水量	～8m ³		9～20m ³	21～40	41～500	501～			25	340	円
	料金	1,030円		161円	213円	269円	280円			40	520	円
官公署・団体用	使用水量	～10m ³		11～20m ³	21～100	101～1000	1001～			50	1,680	円
	料金	2,730円		241円	272円	310円	349円			75	2,460	円
工場・事業所用	使用水量	～10m ³		11～20m ³	21～100	101～1000	1001～			100	3,420	円
	料金	2,730円		273円	325円	350円	365円			125	7,300	円
浴場営業用	使用水量	～8m ³		9～20m ³	21～					150	7,400	円
	料金	1,030円		161円	97円							
臨時工事用	使用水量	～10m ³		11m ³ ～								
	料金	3,660円		366円								

口径が大きくなるほど
メーター単価UP

方向性のイメージ 口径別料金体系

口径別φ	基本使用料 ベース案 ～●m ³ (メーター使用量含む)		従量料金 (1 m ³ あたり単価)							
			1 段		2 段		3 段		4 段	
			●～●m ³		●～●m ³		●～●m ³		●m ³ ～	
1 3 ミリ	安く設定	円								
2 0 ミリ		円								
2 5 ミリ		円								
4 0 ミリ		円								
5 0 ミリ		円								
7 5 ミリ		円								
1 0 0 ミリ		円								
1 2 5 ミリ		円								
1 5 0 ミリ	高く設定	円								

- ① 一般家庭への影響に配慮
- ② 大量の水使用者には、施設への影響が大きいため高くなる料金設定

料金体系

全国の水道事業者の料金体系

	令和元年	令和6年
用途別	390件	354件
口径別	735件	767件

(出所:水道料金表(公益社団法人 日本水道協会))

宇治市水道事業経営審議会からの答申

●平成27年11月4日 答申

●令和3年3月9日 答申

●令和4年1月28日 答申

「全国的な傾向である口径別への移行を
検討されたい」



料金体系の見直しについて、
第3回専門部会で議論いただきました